教科の目標・内容と「学びの連続性」を踏まえた知的障害特別支援学校における効果的な指導 ~"つながる"学び、"つながる"教育課程 ~

中央教育審議会初等中等教育分科会の「特別支援教育部会における審議の取りまとめ」(H28.8)で、「学校種別にかかわらず、各教科の目標・内容を一本化する可能性」の検討が求められました。この小学校、中学校又は高等学校と特別支援学校との間の学びの連続性の確保の観点を踏まえ、本研究では特別支援学校(知的障害)において、小学校等における各教科等を基にした教育課程の編成や、指導方法及び学習評価の在り方について研究します。具体的には、高等部「数学」において小学校の検定済教科書を活用し、生徒の実態等に応じた教材を使用した授業実践を重ね、観点別学習状況の評価により学びの深まりを探ります。

研究概要

個人 集団 検定済教科書を効果的に活用 しながら指導方法を工夫して小 習熟度別学習グループ 学校等の内容を指導することに 事例研究 より、各教科の目標達成に向け 〇実態把握 |年: 4グループX | = 4事例 た授業改善及び自立と社会参加 総合学力調査(小4、小5算数) に向けた教育課程が編成でき、 2年: 4グループ×1=4事例 小・中・高等学校と特別支援学 実施 3年: 4グループ×1=4事例 校との学びの連続性をより確保 · Vineland-II 実施 できるのではないか。 ○学習履歴の把握 ・学習習得状況表の作成 〇実態把握 〇授業実践 カリキュラム・マネジメントの充実 ·総合学力調査(小4、小5 · 令和 4年度「数学」年間 算数) 実施 指導計画⇒改善へ · Vineland-II 実施 検定済教科書の使用 学習習得状況表の作成 (使用方法の工夫・配慮、 学習評価 自立活動チェックリスト その他の教材開発) 指導方法 〇個別の配慮と補助教材 ・単元テスト実施 〇定着状況の分析 ○観点別学習状況の評価 指導計画 ○観点別学習状況の評価 (単元ごとの評価規準) (単元ごとの評価規準) ○評価アンケート 〇パフォーマンス評価 ○教育課程の評価・改善

第二年次(令和4年度)の取組 事例研究(=「個」の視点) 授業実践(=「集団」の視点) その他 教育課程検討委員会 課題研究 1年生 2 · 3年生 〇学習習得状況表 ①他教科等との関連 ○年間指導計画に基づく授業 ○学習履歴の把握 〇検定済教科書の活用 〇学習習得状況表作成 ②生活・余暇との関連 〇教材開発 〇単元末テスト ○自立活動チェックリスト ③卒章生調音 〇観点別学習状況評価 及びシェアシート記入 〇生徒の自己評価 心理検査 (Vineland II) 〇個別配成と補助教材 3年「数学」研究授業 〇定着状況の分析 · 授業研究会 〇観点別学習状況評価 〇パフォーマンス評価 〇生徒の自己評価 ODX 総合学力調査 〇個別配成と補助教材 〇定着状況の分析 〇観点別学習状況評価 〇パフォーマンス評価 〇生徒の自己評価 8 9 | 年「数学」研究授業 · 授業研究会 10 公開授業研究会(11/22) ポスター発表 (11/22) まとめ (研究紀要) まとめ (研究紀要) 評価アンケート まとめ (研究紀要) (生徒・保護者・職員) 2

3.5